

言葉

僕はノルウェーの中でも北側の Sortland という小さな村で1年を過ごしました。ノルウェー全体でも人口約 500 万人とかなり少ないのですが、北ノルウェーはまさに「田舎」と呼ぶにふさわしい場所でした。家の周りには湖があり、山があり、湿地、海、川、森があり、自然の中で生きることが好きな人にとってはおそらく楽園のような環境でしょう。夢のような生活を期待していた僕ですが、現地に着いてみると大変なことばかりでした。

最も大変だったことはやはり言語です。ノルウェーでは英語が使われていると思っている人も少なくありませんが、世界にはノルウェー語というマイナーな言葉も存在するのです。留学中は手元に十分な参考書も無く、辞書なんてありませんでした。そこでノルウェー語を学ぶために最も重要だったことは、とにかくノルウェー人とたくさん話すことでした。それに気づくには時間はかかりませんでした。それを海外でしかも言葉が全く理解できない状態で実行するのは決して簡単ではありませんでした。自分の思いを誰にも伝えられないことは、想像を超える苦しみでした。

半年が経ちノルウェー語もかなり上達して自分の感情を伝えられるようになると、今度はホストファーザーと喧嘩するようになりました。自分の感情を言葉にするのがうまくなったのと同時に互いの意見の違いが浮き彫りになったのです。言葉によって始まった対立ですが、それを解決してくれたのも言葉でした。喧嘩の1日後にはお互いが何に対して怒っているか、何が気に入らないのかを冷静に話し合い、それを認めるのが難しいこともありました。結果お互いをより良く理解できたと思います。最初は言葉のためにコミュニケーションを大事にしていたのですが、そのときにはそれが逆になっていました。

言葉に悩まされた1年は、僕に言葉の本分を教えてくれました。

